

## 第 11 回八戸市学校適正配置検討委員会会議録

日 時：平成 22 年 4 月 26 日（木）13:30～15:30

場 所：八戸市庁本館 3 階 議会第一委員会室

出席者：（委 員）目修三、古館良策、今勝康、大島光子、今川一、黒澤宗男、古館義美、  
北向幸吉、岩村隆二、日山祥子（以上 10 名）

（市教委）松山教育長、芝教育部長、前田教育部次長、高野学校教育課長、  
八木田学務 GL、磯嶋学務 G 主査、町井学務 G 主査（以上 7 名） 計 17 名

事務局：ただいまから第 11 回八戸市学校適正配置検討委員会を開催させていただきます。本日の出席委員は 10 名となっております。よって、八戸市学校適正配置検討委員会設置要綱第 5 条第 3 項の規定により、本日の会議は成立となります。

事務局：続きまして審議に入ります。進行は目委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

委員長：それでは会議を進めさせていただきます。本日は、前回に引き続き、柏崎小学校の移転に伴う小中野地区の学区について審議する予定でしたが、先般開催されました江陽中学校地区の地域意見交換会の結果等も踏まえ状況に変化があったようです。会議の今後の進め方も含めて事務局から説明をお願いいたします。

（事務局「審議見直しについて」説明）

委員長：ただいま事務局から、小中野地区の学区については今回は触れないこと、学区外通学許可基準の見直しについては「審議状況報告」の中にも含める、という提案がありました。委員会では、今まで美保野地区について美保野中学校を統合するという方向性を出しておりますが、これはまだ公表しておりません。今回、小中野地区の学区の変更等が公表されますと、これは最初のケースでしかも非常に微妙なところに話を切り込むということになりますので、非常に影響が大きいということは十分理解できることだと思います。また、説明にもあったように、提言という言葉が非常に重みを持っている以上、学区外通学許可だけが非常に重々しい雰囲気の中で公表されますと、市民から「委員会はいったい何を検討しているのか」という声も出てくると思います。そういったことも踏まえて「審議状況報告」の形としてはどうかという提案ですが、これにつきまして委員の皆様のご意見を伺いたいと思います。

委 員：先日、市長の懇談会に自治会長として出席した。その際、連合町内会長から学区について市長へ強い要望があった。その点からも、私も委員長のお話のとおりでいいと思う。町内会長が非常に敏感になっている。

委 員：私も、現時点では事務局の提案どおりでよいと思う。

委員長：他にご意見はございますでしょうか。

（委員意見・質問なし）

委員長：繰り返しになりますが、これは決してこの委員会が学区の見直しをしないということではなく、もし必要なことであるとの結論が出れば、きちんとした形で最後の提言には盛り込みたく

いと思います。今回の件は「特別の地区のことだけが公表されるのは避ける」ということだけは確認しておきたいと思います。それでは、委員の皆様方からご了解をいただきましたので、そのように進めさせていただきます。

委員長：それでは、審議状況報告の内容等について、改めて事務局から詳細な説明をお願いいたします。

(事務局「審議状況報告について」説明)

委員長：ありがとうございます。ただいまの説明について、質問を含めて委員の皆様方のご意見を伺いたいと思います。今配られた資料ですので、少し時間をとりたいと思いますのでご一読願います。

(委員資料閲覧)

委員長：いかがでしょうか。ご意見・ご質問はありませんでしょうか。

(委員から異議なし、質問なしとの声が出る)

委員長：よろしいでしょうか。後日、事務局から各委員の皆様にご内容確認の連絡をしていただきますので、訂正等があればその時にご指摘いただきたいと思います。次回の会議では、この内容を確認した上で、提出することにしたと思います。

委員長：それでは審議を続けたいと思います。前回の委員会で、隣接する江陽中学校地区の説明を受けたうえで小中野中学校地区について改めて審議するということになっておりましたので、まず江陽中学校地区について事務局から説明をお願いいたします。

(事務局「江陽中学校地区のまとめについて」説明)

委員長：ありがとうございます。小中野中学校地区、江陽中学校地区について審議したいと思いますが、まずは、前回から議論しております小中野中学校地区を中心に委員の皆様方のご意見を伺いたいと思います。

委員：新しい柏崎小学校に隣接する小中野側の3町内も含めて、柏崎小学校・小中野小学校・江陽小学校の児童数見込みを調べてみた。柏崎小学校にこの3町内が加わって、小中野小学校と江陽小学校が一緒になると仮定した場合、児童数だけを見ると理想的なバランスになる。ただ、地域感情等も考慮すれば、個人的には今は現状維持とし、今後3町内がどのような方向に行くかによってまたそこから改めて考えていくべきであり、今は子どもの数だけを見て足し算引き算が出来る状況ではないと思う。

委員：地域感情は現実としてある。例えば湊小学校は135年の歴史の中で、今年初めて1年生が1学級になった。1学年1学級の学校経営が今スタートした状態で、どんな問題が生じるか、メリットやデメリットがあるのかどうか、先生方も地域も誰もピンときていない。したがって1学級では学校経営が難しいというような状況になった場合は皆が問題意識を持つと思うが、そうでなければ今は学区を動かすのはなかなか難しい気がする。

委員：連合町内会という昔からのくくりを考えると別の中学校区に行くのは非常に抵抗があるが、子どもたちが移ってしまうとそれに続いて町内も移っていくという状態がおきている。例えば八戸小学校区のある町内の場合、今までは江南小学校に通っていたが今は八戸小学校に通っている。町内は昔から根城地区連合町内会に入っていたが、今年の4月から町内も全て三八城連合に入るようになった。子どもを主体に地域が動くということは、将来を考えると非常にいいことであり、理想的だと思う。地域の方々はどうしても子どもを中心に考えるので、

他の学区へ通うことに対してはすごい抵抗がある。江陽地区も一つの連合町内会を組織しているのですが、それが小中野と一緒になるということは、これは教育委員会だけの問題ではなく八戸市全体の問題である。それが先日の市長と連合町内会長との話し合いの中で、学校という枠を超えた地域全体の問題として質問が出てくる状態となっている。この辺は大事にやっていかなければならないと思うし、慎重に取り組む必要があると思う。

委員：児童の数合わせ的視点からの考え方や、子どもの動きにあわせて地域が動くという話も出ていたので、それらも含めて考えていたが、世代の違いから我々が知らないところで感情的に難しい部分があるように感じる。最後には、「子どもにとって何が一番いいのか」ということに行き着くのだが、そこで非常に悩んでいるというのが正直な考えである。江陽地区については、地域がピンときていないような印象を受ける。児童が少なくなる将来はPTAの運営上は不安があると思う。

委員長：先日、江陽中学校地区の地域意見交換会に出席したが、江陽地区はまだ問題が無いだろうという地域の方々の雰囲気があるように感じました。

委員：適正配置の話題ではなく違う話がたくさん出ていたので、あまり身近に迫った感じではなかったと思う。

委員長：問題点の一つとして、小中野小学校と江陽小学校は本当に距離が近いです。その他、部活動の話が出ていました。小中野・江陽地区が一つの中学校、一つの小学校になるとすれば部活動の種類も増えるというイメージはあります。しかしながら、小中野地区と江陽地区の歴史的な感情はどうなのでしょう。もともと一つのもものが別れたという面では、他の地区と少し違うのかなという印象を受けました。

委員：江陽地区からは「小中野と統合ということになれば反対する」という意見も出ている。

委員：小中野や江陽で地域活動をしている方と付き合いがあるが、地域感情というのは非常に強くあると感じた。小中野は本家、江陽は分家という気持ちはあるが、一旦別れてからある程度の年月が経っており、なおかつ連合町内会が別々になっている。その一旦別れた枠組みがまた一つに戻るとなった場合は非常に違和感があるように感じた。小中野地区の方から聞いた話だが、もう小中野と江陽はものの考え方が変わってきている。それが若い方々ではなく、年配の方々がそう考えているようである。

委員：それは感じる。これはどこの地区でもそうだが安全協会や防犯協会、連合町内会もそうだが、役員をやっている方は非常に長くその役職を務めており、年配者が多い。50歳代ですらほとんどいないような状況である。実際は、役につかない地域の方々が大多数であり、役員との意識はずれていると思う。

委員長：特に小中野地区は、保護者の方々の町内会加入率が低いために、町内会の意見と保護者の意見が必ずしも一致しないという大変難しい地域だとは思いますが、何らかの方向性は出さなければなりません。

委員：この地域は短期的ではなく長期的な視点で考えたほうが良いと思う。先程の意見にもあったように、1学年1学級になってくれば地域でも問題意識が出てくると思う。

委員：1つの中学校区に小学校が2つ以上ある地域で、1つの連合町内会の中に小学校が複数あるというところはどれぐらいあるか。

委員：青潮小学校が分かれている。

委員：根城地区は一緒である。そうすると根城小学校と江南小学校は、地域活動があるとみんな一緒に集まるなど常に交流がある。そうするとこういう問題がおきても、普段から地域もPTAも一緒になって活動しているので、例えば入学式があったが新入生が1クラスだったとか、卒業生が17人だったとか、これではかわいそうだということが一緒になって話し合えるのでそういう地域は合体しやすいと思う。

委員：長者もそうである。小中野の場合は学校の問題というよりも町内の問題である。今、小中野はえんぶりなど様々な活動をしているが、3町内が減ると参加者も減ってくる。そういうのが危機感となって市長との懇談会でも質問することになっている。

委員：確かに3町内が抜けると団体の負担金など連合町内会にしてみれば影響が大きい。3町内が柏崎小学区になると、最終的には町内も小中野連合町内会から離れていくことになる。そうなるのがいやだという声が大いと思う。

事務局：南浜地区もそうです。金浜小学校、大久喜小学校と種差小学校がそうです。他には白銀地区の白銀小学校と白鷗小学校がありますがあまり多くはないです。

委員：こういう地域は、地域のトップが同じなので2つの小学校があった場合でも比較的進みやすい。

委員：もし3町内の学区外通学が許可された場合は、新しい柏崎小学校に児童が行くようになると思う。そうなれば何年か経つと町内会もそのように判断してくれるのではないか。

委員：そういう状態になれば、町内会がそのようになってくる。連合町内会では縛りはかけられない。

委員：それを待ったほうが、スムーズに学区変更ができるのではないかと思う。

委員：私も今のご意見に賛同する。

委員：一石を投じて現実がどうなっていくか、現実にあわせて自然にそうなると思う。

委員長：だいたい意見が集約しつつありますが、委員が作成した資料がありますので、説明をお願いします。

(委員から資料説明)

委員長：人数のバランスで見た場合の貴重な資料です。ありがとうございました。

委員：将来的に新しい柏崎小学校にこの3町内の児童を盛り込むかどうか問題がある。

委員長：今のままですと、学区外通学許可基準を緩和した範囲で実施するということができません。その時に、町内会で申請して距離的理由が認められればいいのですが、それも町内会ではできないということになると、保護者の方々の負担感が増えることもあるかと思えます。

委員：町内会として距離的理由で学区外許可申請をするかといえばそれも難しいと思う。

委員：個人の意見を抑えることはできないので、申請がどんどん増えてきて「これはしょうがない」となる時期を待つしかないのかとも思う。

委員：湊の場合、湊小学校の正門の前の町内が青潮小学校の学区になった。その町内に住む児童は今まではずっと青潮小学校に通っていたが、ここ最近、学区外通学する児童が増えてきて、今では町内児童の半分ぐらいが湊小学校に通っているという現実がある。それでも、学区の変更や距離的理由で認めるということに対しては町内としては反対している。そういう意味では、最近の若い人たちの考え方も変わってきていると感じる。今の3町内についても実際にそうならないとわからない。

委員長：そろそろまとめたいと思います。委員の方々のご意見をまとめますと、今すぐに小中野学区と江陽学区を一緒にするという事は、児童数のバランスが理想的によくなるとしても、状況としては実施できないのではないかとということで、小中野学区と江陽学区は現時点では現状維持とします。ただし今後、児童生徒数の減少等による教育環境の変化などを踏まえて、小中野と江陽の学区統合はきちんと検討すべきであるという付帯事項をつけたいと思います。また、さらに付帯事項の中には、小中野学区と江陽学区の統合が検討された時には、通学の安全性を考慮し、北青葉・諏訪二丁目・諏訪東・諏訪一丁目を柏崎小学校の学区に変更することも検討すべきであるという2点目の付帯事項もつけまして、小中野中学校地区と江陽中学校地区は現時点では現状維持とするという結論でよろしいでしょうか。

(委員異議なし)

委員長：それではそのようにまとめさせていただきます。そろそろ時間ですので終わりいたします。次回は審議状況報告の内容を確認して提出したいと思います。その後は、小中野、江陽に近い柏崎小学校を含めた第三中学区について審議し、それから隣接する第一中、第二中の審議をして、中断している東中学校地区に入りたいと思いますがよろしいでしょうか。

(委員異議なし)

委員長：よろしいようですので、そのようにさせていただきます。それでは事務局にお返しいたします。

事務局：それでは事務局から2点、ご報告させていただきます。まず1点目は地域意見交換会の開催日程のお知らせです。今後の開催予定といたしまして、第20回目の根城中学校地区を5月26日(水)午後6時30分から根城中学校で開催いたします。ご都合がございましたらご参加いただきたいと思います。もう1点ですが、次回委員会の日程を決めたいと思います。次回は5月17日(月)午後1時30分からの1案でお願いしたいと考えておりますが、ご都合の悪い方はいらっしゃいますか。大変恐縮ですが、審議状況報告提出の関係もありますので、この日でお願いしたいと思います。

(委員から時間が都合悪いとの発言あり)

事務局：同日の午後1時から開始ということでよろしいでしょうか。

(委員異議なし)

事務局：それでは、次回は5月17日(月)の午後1時からとさせていただきますのでよろしく願いいたします。以上を持ちまして第11回八戸市学校適正配置検討委員会を終了いたします。ありがとうございました。

以上